



7月のお便り

夏という季節がやってきました。
気候はそろそろ落ち着いた頃でしょうか。
少し前までは毎日のように気温が大幅に変化したりして、かなり落ち着かない日々でした。
そのせいか、いただくお電話やメールの内容は圧倒的に「病院では特に何も無いと言われるし、どこがというわけでも無いのだけど、とにかくなんとなく体調が悪い。」というものが多かったです。
でも、気候が落ち着いてきたのでそろそろ体調も安定するのではないのでしょうか。

今回は、普段身近な「ペットボトルの飲み物」「水筒の飲み物」についてお話したいと思います。

ペットボトルや水筒の飲み物は一回飲んで余っても、蓋を閉めてしまえば、こぼすことなく持ち歩くことの出来る非常に便利なものです。

しかしその一回口をつけたペットボトルや水筒の飲み物。
人間の口の中には、歯磨き後でも1000億個、放置しておくとも1兆個の菌が存在します。

そのほとんどは健康であれば特に何も悪いことはしない菌ですが、一部の菌は隙あらば悪さをしようとする菌です。

そのような菌が飲み口からボトル内に入り、それを常温で放置したら一体どうなるのでしょうか？

液体の場合、菌が1mlあたり100万個を超えると腐敗している状態とされていますが、早いものでは24時間で1億個まで増殖するものもあります。

これは、直接口をつけて飲んだ場合もストローで飲んだ場合も同じです。

途中まで飲んだ飲料をそのまま室内などに放置して、うっかり次の日以降に飲んでしまったりした場合は、食中毒になる危険性が非常にアップします。

気温が上がる夏は特に気をつけて、2~3時間以内に飲みきるようにしましょう。

出来ればコップなどに注いで飲み、残りはすぐに冷蔵庫で保管するのが良いです。

ちょっとしたことで回避できるものは回避しておくにこしたことはありません。

お腹壊したら辛いですからね。

夏風邪などもひかないように、楽しい夏を迎えてくださいね！！



製品に関するお問い合わせは

バイオゲイン
011-590-0114

BIOGain